

NO	区分	頁	箇所	内容	事務局 対応方針
1	将来ビジョン	3	第1章第1節 計画改訂の趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・計画改訂の趣旨に追記した「さらには、地震や台風等の自然災害、新たな感染症の発生など、様々な課題が発生し、安心して暮らすことができるまちの実現に向けた取組みが求められています。」について、近年は、台風だけでなく豪雨災害も多いことから、「台風」を「風水害」とする方が適切ではないか。 ・また、「新たな感染症」についても、既に発生したものであるため、「新型コロナウイルス感染症」と明記する方が適切ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり、「計画改訂の趣旨」を修正します。 修正箇所:【第3回 資料2】 P3
2	将来ビジョン	15	第3章第2節 基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・20歳代の社会動態は、5年前よりも悪化しており、今後、トリヴェール和泉の宅地販売が縮小していく中、転入者数の減少による、さらなる悪化も見込まれる。そのような中、現総合計画は市民の定住志向を高めることに特化しており、転入の促進には力が入っていないように感じるため、若年層を中心とした市外からの転入促進にも注力することを記載し、施策を検討すべきである。 ・和泉市が取り組んでいる教育環境の充実などは、若年層の転入促進を図る上で重要な施策であり、転入促進に向けた施策の方向性を明確にした上で、戦略的に取り組み、市外に向けて発信することが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の趣旨を踏まえ、「第3章第2節 基本的な考え方」を修正します。 修正箇所:【第3回 資料2】 P15
3	将来ビジョン	15	第3章第2節 基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症により、テレワークが進展することを見据えた転入促進策が必要ではないか。 ・テレワークの進展がU・Iターンのきっかけとなる可能性があるため、「田舎暮らしを希望する人に向けた誘致施策」の中で、テレワークの推進を含めた転入促進策に取り組んではどうか。 ・「新しい生活様式」の中で、和泉市が住みやすい・暮らしやすいということをアピールできればよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の趣旨を踏まえ、「重点施策第4章第1節 【現状と課題】」について、新型コロナウイルス感染症による地方移住の関心の高まりに関する文案とグラフを追加します。 修正箇所:【第3回 資料2】 P94、95 <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な施策については、「重点施策31 コミュニティの維持及び活性化の推進」の中で、U・Iターンや田舎暮らし希望者等の誘致施策を検討することとし、テレワークの推進についても、上記施策の手段の1つとして検討します。 また、アピールについても、「重点施策35 和泉シティプロモーション事業の推進」に基づき、実施してまいります。

NO	区分	頁	箇所	内容	事務局 対応方針
4	重点1章	42	重点施策06 学力向上に向けた教育・学習環境の充実 4つ目の○	<ul style="list-style-type: none"> ・教育環境は、居住地を選択する上で、非常に重要な要素であり、転入を促進する観点からも、和泉市がICT機器を活用した教育環境の整備に力を入れているということをアピールすることは有効である。ICT機器を授業で活用することはもちろん、授業以外でも個々の児童・生徒の学習の進捗に応じた学力向上のために、活用することを打ち出すべきではないか。 ・現時点では、具体的な記載をすることが困難でも、予習・復習にICT機器を活用するなどは想定されるため、抽象的な表現でも、可能なかぎり検討いただきたい。 ・民間企業と連携したインターネット授業なども検討すべきと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の趣旨を踏まえ、「重点施策06 具体的な取組み」に、家庭学習の支援について、追加します。 修正箇所:【第3回 資料2】 P42
5	重点1章	42	重点施策06 (具体的な取組み) 学力向上に向けた教育・学習環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数学級について、市の対応としては、「必要性を認識しているものの、財源などの課題があるため、慎重な検討を要する」とされており、総合計画には記載しないとのことであるが、感染拡大防止の観点からも推進するべきであると考えるので、記載いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数学級編成の必要性は認識するものの、市立小中学校教職員の人員費は、本来、国及び大阪府が負担するものであり、市費での対応については、慎重に検討していく必要があると考えています。 ・現在、小学校3年生の算数等における少人数指導を市費負担教職員の加配により実施しているところですが、国や府に教職員の加配を要望しており、今後も引き続き、少人数学級編制等について、要望してまいりたいと考えています。
6	重点1章	55	第1章第5節 【現状と課題】 3. 安全でゆとりのある歩行空間の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の件数について、表やグラフがあればわかりやすくなるのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の趣旨を踏まえ、表を追加します。 修正箇所:【第3回 資料2】 P55
7	重点1章	56	第1章第5節 【現状と課題】 4. 求められる移動手段の確保 <コミュニティバス利用者数の推移>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年から「めぐ〜る」の乗車料金が100円から160円にアップしたことで、利用者数の減少や利用料の減収、市負担金の増加を招いたことを明確にするため、平成25年度以前のデータを掲載するべきと考え、修正いただいたが、掲載することで「めぐ〜る」の利用ニーズが極端に減少しているなどの誤解を招いてはいけないため、削除することや元に戻すこと、別のグラフにすることを検討いただきたい。 ・このグラフが「現状と課題」に記された文案と連動していないように見えるので、何を示したいかを明確にした上で、修正を検討するべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本市においては、民間の路線バスに加えて、民間では不採算になる交通空白地域の解消のため、市が費用を負担するコミュニティバス「めぐ〜る」等を運行しています。 ・グラフについては、市が運行する代表的な公共交通である「めぐ〜る」の利用者数の規模がどの程度あるのかを明示するため掲載しているものですが、ご指摘のような誤解を招くことがないように、グラフを修正します。 修正箇所:【第3回 資料2】 P56

NO	区分	頁	箇所	内容	事務局 対応方針
8	重点1章	56	第1章第5節【現状と課題】 4. 求められる移動手段の確保	・高齢者がお出かけしやすい環境づくりについて、公共交通の箇所でもう少し表現できないか。	・ご指摘の趣旨を踏まえ、記載を修正します。 修正箇所:【第3回 資料2】 P56
9	重点3章	82	第3章第1節【現状と課題】 3. 求められる防犯意識の向上・整備	・和泉市は、他市と比較して犯罪件数が少ないのではないかと考えるが、その場合、それを計画に盛り込みアピールポイントにすることで人を惹きつけることができるのでは。	・大阪府警がHPで公表している「大阪府下の犯罪統計」によると、同じ人口規模として比較した場合、和泉市は大阪府下43市町村のうち26位と犯罪件数が特に少ないということはありませんでした。 【参考】大阪府下の犯罪件数 少ない地域：豊能町、能勢町、河南町 多い地域：田尻町、大阪市、門真市
10	重点3章	84	重点施策25 (具体的な取組み) 感染症対策の強化	・「感染防護品の備蓄」や「予防接種体制の構築」の項目について、他の取組みと比較すると、総合計画に位置づける内容としては、具体的すぎるのではないか。	・ご指摘の趣旨を踏まえ、他の取組みの表現と整合性を図るため、修正します。 修正箇所:【第3回 資料2】 P84
11	重点3章	89	重点施策28 地域における防災体制の強化	・災害と感染症が同時に発生した場合における避難所の感染症対策について、不安を感じる市民が多いと考えられるため、避難所設備の充実を盛り込むなど、何らか記載することを検討いただきたい。	・ご指摘の趣旨を踏まえ、重点施策第3章第2節の「現状と課題」及び重点施策28に、避難所に関する記載を追加します。 修正箇所:【第3回 資料2】 P87、89